

大会長講演・特別講演・パネルディスカッション

大会長講演 5F 大会議室 13:00-13:40

「国際保健人材としてのコメディカル」

柳澤理子（愛知県立大学）

座長：深井穂博（深井歯科医院・深井保健科学研究所）

特別講演 5F 大会議室 13:40-14:40

「アフガニスタンの保健医療の現状から国際協力の在り方を問う

ーカレーズの会 20万人診療から見えるものー」

レシャード・カレッド（カレーズの会）

座長：柳澤理子（愛知県立大学）

パネルディスカッション1 5F 大会議室 14:40-16:10

「国際保健に貢献するコメディカルの力」

田代順子（聖路加看護大学）

西田美佐（松本大学）

渡邊雅之（浜松大学）

本田 徹（SHARE）

座長：奥野ひろみ（信州大学）

パネルディスカッション2 5F 大会議室 16:10-17:50

「新興感染症対策ー新型インフルエンザ and beyondー」

村上 仁（国立国際医療センター）

實吉佐知子（厚生労働省）

坂野昌司（台東保健所）

中野貴司（国立病院機構三重病院）

座長：石川信克（結核研究所）

シンポジウム・ユースフォーラム

シンポジウム 4F セミナー室3・4 9:40-11:50

「国際協力におけるヘルスプロモーション」

湯浅資之（順天堂大学）

溝上哲也（国立国際医療センター）

SOLANGE GALVÃO COUTINHO（ペルナンブコ連邦大学社会活動部長）

MARIA LUIZA LINS E SILVA PIRES（ペルナンブコ連邦大学）

JOSE RICARDO RODRIGUES DE MELLO FILHO（ペルナンブコ州政府）

府）

座長：西田美佐（松本大学）

山本佐枝子（国立国際医療センター）

ユースフォーラム 5F 大会議室 9:40-12:20

「達成まであと5年、MDGsは世界を変えたか —お母さんのいのちから考えるMDGs—」

講師：池上清子（国連人口基金東京事務所 事務所長）

山本美香（国連人口基金 東京事務所）

セミナー

途上国の保健プロジェクトのベースライン調査、
インパクト調査のための世帯抽出調査

【日時】 3月6日（土） 13:00～18:00

【会場】 国立国際医療センター 国際医療協力局 3階会議室

【対象】 国際保健の実施者ならびに学生、教員、学会員

【主催】 国立国際医療センター国際医療協力局委託研究21指8
我が国の国際保健医療協力従事者の研究能力強化に関する研究
班

【概要】 国際保健プロジェクトのベースライン調査やインパクト調査のために、広域で、世帯調査を実施する際の、多段抽出法、層化抽出法（クラスターサンプリング）に関するセミナー。抽出方法や加重補正方法など演習を交えて講義。標本抽出調査の基礎知識を身につけられるよう企画した。

【トピック】

- ・ 疫学の地域診断と臨床診断の比較
- ・ 母集団の率の推定
- ・ 標本抽出世帯調査
- ・ 事例による演習：ラオスにおける蚊帳使用率推定
 - 必要なサンプル数の推定
 - 層化とクラスタ数、クラスタ内サンプル数の決定
 - クラスタの抽出-確率比例抽出法
 - 集落(クラスタ)内の世帯のリスティングと抽出
 - データ分析：重みづけ、点推定と区間推定